



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



2015-2016年度
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友 利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリークラブ週報**

【2016年3月17日】

第1210回 2015-2016年度 第30回

★ 熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会式次第 ★

日時：平成28年3月17日(木) 18:30~ (於：ホテルキャッスル)

★例会 (18:30)

- 司会 中川 信三 会員(熊本北)
- 点鐘 村上 芳明 会長(熊本北)
- 国歌斉唱
- ロータリーソング(奉仕の理想)
- 来訪者紹介 村上 芳明 会長(熊本北)
- 友情の握手
- 会長スピーチ 村上 芳明 会長(熊本北)



- 〃 大友 利行 会長(熊本グリーン)
- 熊本菊南RC創立30周年記念例会・式典の御案内 熊本菊南RC様より
- 幹事報告 中尾 潤一 会員(熊本北)

- 出席報告 〃
- 〃 葉 高源 会員(熊本グリーン)

- 委員会報告
- スマイル報告 加藤 隆章 会員(熊本北)
- 田中 純司 会員(熊本グリーン)

- 卓話 (19:00)
- 卓話者紹介 村上 芳明 会長(熊本北)

演題「永田町&霞が関&ふるさと再生&立志学舎」

熊本第三グループガバナー補佐

倉田榮喜 氏(倉田栄喜法律事務所所長 熊本北RC 会員)

- 点鐘 (19:30) 大友 利行 会長(熊本グリーン)

★懇親会 (19:45位~ 会費:3,000円)

※「懇親会」 「ビアレストラン 壱之倉庫」(熊本市中央区坪井町2-8 TEL 325-3911)

卓話
予定

- 3/28 「観桜例会」★例会場所変更(於：ちゃんこ「やっこ」)
18:00 集合(例会までに健軍自衛隊通りの桜並木を散策) / 18:30~例会
- 4/ 1 松村 秀逸 会員卓話
- 4/11 「地区・研修協議会」報告
- 4/18 「台湾への道程」中島 敬高 氏(熊本電気鉄道(株) 社長) 熊本RC 会長

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

会長スピーチ (大友 利行 会長)



今日は熊本北クラブとの合同例会です。楽しみにしていました。会長の時間は熊本北RCの村上会長だけとと思っていましたので、私は特別に用意しておりません。

先日、13日に古代史研究の上田正昭東大名誉教授が88才で逝去されたとの報道がありました。一般の方はあまり御存知ないかも知れませんが、私の学生の頃はバリバリの研究者としてその名を記憶しています。古代日本の王権は単系ではなく、奈良の王権:大阪河内の王朝へと受け継がれたと主張されました。天皇制とは何か、日本という国の名称はいつ頃から使われたのかなどのテーマに広く東アジア全体を視野に入れ、歴史だけでなく、神話、宗教、芸術など広い視点で古代日本を論じられました。日本という国号は「旧唐書」などの史料から上限670年、その下限は大宝律令成立の701年と推定されたのも興味があるところです。

幹事報告 (白石 正英 会員 (熊本北))

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2016~2017年度 「会員増強・管理運営合同セミナー」のご案内

日時：平成28年5月14日(土) 09:30-12:30 (受付9:00~)

場所：熊本学園大学

出席義務者：次年度会長、幹事、クラブ管理運営委員長(プログラム、親睦、出席、スマイル担当)、会員増強委員長

■ 例会変更

<変更>

【熊本グリーンRC】 3月28日(月)の例会は、観桜例会のため、同日18:30よりちゃんこ料理「やっこ」にて行います。

【熊本城東RC】 3月28日(月)の例会は、お花見例会のため、同日18:30より「城見櫓」にて行います。

【熊本西陵RC】 3月28日(月)の例会は、お花見例会のため、同日18:30より「初鮮」にて行います。

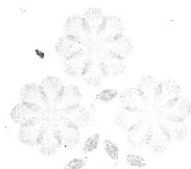
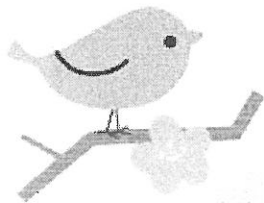
【熊本東RC】 ①3月29日(火)の例会は、第38回青少年卓球大会のため、同日開会09:00、熊本総合体育館にて行います。

②4月5日(火)の例会は、花見家族例会のため、同日19:00より「ダイニングカフェ彩」にて行います。

【熊本北RC】 3月31日(木)の例会は、親睦例会のため、同日18:30より「はや川」にて行います。

出席報告

	会員総数	22名	出席率
3月17日	出席免除会員数	2名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
2月29日	前回の出席会員数	9名	70.00%
	メイクアップ数	5名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・2/17 熊本西RC創立30周年例会 河野 君 ・3/ 1 熊本東RC 田中 君 ・3/ 2 熊本東南RC 仙波 君 ・3/ 9 熊本東南RC 松村 君 ・3/ 9 熊本平成RC 福島 君 			



スマイル

- 熊本菊南RC 弥頭幾久雄 会員・村上 孝行 会員
「熊本菊南ロータリークラブ 創立30周年記念例会・式典のご案内におじゃましました。6月4日の日にはみなさんのご参加をよろしくお願い致します。」
- 熊本北RC 中尾 潤一 君、西尾 剛人 君、加藤 隆章 君、白石 正英 君、中川 信三 君、和田 明大 君、加藤 隆章 君
「久しぶりの熊本グリーンRCさんとの合同例会を祝して、全員スマイルです。」
- 熊本北RC 倉田 榮喜 君
「本日、熊本北ロータリークラブと熊本グリーンロータリークラブの合同例会に、ガバナー補佐として卓話の時間を頂きました。どうぞよろしくお願い致します。」
- 大友 利行 君、荒木 一之 君
「本日の熊本北RC、熊本グリーンRCの合同例会、また倉田第3グループガバナー補佐の卓話に感謝しスマイルします。」
- 仙波 洋八 君
「熊本北RCとの合同例会が開かれると、久しぶりの存在感を味わう気分になります。やはり「数は力なり」なのでしょうか。引き続き開かれます懇親会も楽しみにしています。」
- 河島 一夫 君
「合同例会いいですね。毎週行いましょう。」
- 河野 景治 君
「久しぶりの例会出席となりました。北クラブ様との合同例会に参加させて頂き感謝のスマイルを申し上げます。」
- 福島 和見 君、中島三千代 君
①「北ロータリークラブとの合同例会、楽しみにしていました。北の新会員の和田会員との顔あわせができた事へスマイルです!!」
②「本日の卓話者倉田様に心から感謝します。」
- 田中 純司 君、長野 義文 君、栗山 義則 君、葉 高源 君
「熊本北ロータリークラブの皆様お久しぶりです。本日の合同例会よろしくお願い致します。倉田ガバナー補佐の卓話楽しみにしています。」

[卓話]



演題「永田町&霞が関&ふるさと再生&立志学舎」
熊本第三グループガバナー補佐
倉田榮喜 氏(倉田榮喜法律事務所所長 熊本北RC 会員)

1 伝統の進化と文化の創造

ガバナー補佐として各クラブを訪問させて戴いているところですが、同じロータリークラブとはいえ例会の持ち方一つにしても、クラブ毎に特色がありクラブの伝統やそのクラブにしかない特色を感じさせて戴いているところです。

2月に放映されたBSの皇室番組で、皇后美智子様が妃殿下として皇室に入られた後に書かれたという日記に、「進歩なき伝統・伝統なき進歩」というお言葉があったことが紹介されていました。その言葉がとても心に残りました。私には、環境の変化に対して、伝統を受け継ぎながらもどう進化を遂げていくかという課題を強く意識するお言葉でした。

会社や組織が、高齢化や人口減少という社会環境の激変に対して、どう対応してどう生き残るか、組織が抱える大きな問題です。

大企業や大きな組織は、環境の変化にあわせて生き残ることが可能だと思いますが、そうではない中小企業や組織の生き残りはどうすれば良いか！

福岡のセミナーで戴いた資料に、これには二つあって、一つは自分や組織が環境に合わせて変わる事、もう一つは、自分と組織を進化させてイノベーションを行い、競争のルールを変えることだそうです。自分のルールで競争すれば、大企業にも大組織にも勝てる可能性があります。競争のルールを変えると、自分に有利な新しいルールを作りあげることになり、会社にとってはその会社にしかない独自の商品や技術の開発や独自の販売方法ということになり、組織にとっては他の組織にはない独自の文化を作りあげることだと思います。

皇后様のお言葉として紹介された「進化なき伝統・伝統なき文化」というお言葉の意味を勝手に解釈することは恐ろしいことですが、クラブに当てはめれば、伝統を進化させながらクラブ独自の魅力的な文化をどう作りあげるかということだと思います。

ガバナー補佐として参加させていただいた例会で聞いた話ですが、織物は、縦糸と横糸で紡がれていきますが、縦糸を切ると織物全部が壊れるというお話がありました。

織物に例えるならば、伝統なき進化とは縦糸を切ることであり、進歩なき伝統とは、新しい横糸が全く織り込まれないことだと思います。

伝統という縦糸を主にしながらも、新しい横糸を織り込みながら、素晴らしい色彩の新しい文化を作りあげなくてはならないと思います。

本日の北ロータリークラブとグリーンロータリークラブの皆様との合同例会で、どのようなお話をしたら良いか考えたのですが、結局、私自身のお話をさせて戴くことにしました。心に沁みるような話にはなりませんが、お許しを戴ければと思います。

2 「永田町の虚構と霞が関の崩壊」という本を書こうと思った話

平成12年に政界から身を引く頃、日本の権力の所在について考える「永田町の虚構と霞が関の崩壊」という本を書こうと思いその序文と内容の構成まで書きました。

弁護士になって自分の時間が出来たら、その中で書こうと思った事実を裏付ける資料を揃えようと思っていました。

しかし、弁護士業を始めたら始めたで、事件を受任する毎に仕事に没頭することになり、必要な資料が揃わないまま時間が過ぎて既に時期を逸してしまいました。

時期を失した与太話の類とお聞き戴ければと思いますが、当時どうして「永田町の虚構と霞が関の崩壊」と考えたのか、という話からさせて戴きたいと思います。

皆様は、日本における権力の所在はどこに在ると思われますか？

日本国憲法の前文と1条が定める国民にあると思われますか。

国民は、主権者として権力行使の福利を享受している(憲法前文)と思われますか。

RCは政治の話はタブーと承知していますが、今日は「永田町の虚構と霞が関の崩壊」という本を書こうと思った私の動機の話としてご容赦を戴ければと思います。

私は、政治の世界に身を置くとき、日本の権力は永田町に在ると思って、3度の衆議院選挙と10年余の議員生活を経験しました。

その経験では、国権の最高機関であるべき国会(憲法第41条)は、単に法律の通法機関にすぎず、殆どの法律は霞が関で起案・立法されて閣法として提出されていました。

国権の最高機関としての立法院であるべき国会は、霞が関で作られた法案を追認するにすぎない機関に思われ、その視点から永田町の虚構を書こうと当時思ったのです。

次に、霞が関はどうか。霞が関は、国民が権力行使による福利を享受する法律を起案しているかどうか、各省庁が自前の施設として有する国有資産は、誰の為のものなのか。霞が関の隣に位置する虎の門を所在地とする国関与の法人は、誰の為のどのような利権の法人なのかと自問しながら、霞が関の崩壊を書こうとしたのです。

しかしながら、この本は遂に完成させることが出来ませんでした。既に時期を逸したばかりか、私にとって今更この本を完成させる意味もなくなってしまいました。

そこで、この実にふがいない結果を反省すると共に、団塊のプレミアム世代に属する者として、「ローカルトラック」(徳野貞雄論)の後一周のラストランをどう走るかを考えなければなりません。

3 「ふるさと再生」・「息子と娘を呼び戻そう」という話

昨年12月12日、熊本第3グループのIMIに、熊本大学の名誉教授であり、道の駅の命名者である徳野貞雄先生に、徳野先生の本年度テーマである「人生80年時代を生き抜く！プレミアム世代の登場と現代社会」論から、「人口減少時代の農山村の生き残り戦略—誰が「ふるさと」を立て直すのか—」の視点からお話を戴きました。

私の故郷は天草ですが、世界遺産で話題となっている崎津や絶景の天草灘の集落等、生まれ育った父祖の地が今後どうなっていくのか心配するのです。

徳野先生の「農村の幸せ、都会の幸せ」という著書の冒頭に、「トヨ田に、ホン田、こりゃマツ田、お前ら、田んぼの出じゃないか 田んぼつぶすな、罰当たり！」という菊池養生園の竹熊先生が詠まれた歌が紹介されています。

私が生まれた昭和24年はいわゆる団塊の世代で、当時、「集団就職列車」という言葉があり、田舎の2男、3男は中学を出た時点で「金の卵」ともてはやされて都市部に集められ、貴重な労働力として都市の繁栄を支えました。そして、現在に至っても地方は、息子と娘を都市の繁栄のために供出し続けています。東京は、なおオリンピックを控えて地方からの労働力を求めています。

この東京を始めとする都市部からの今なお続く労働力供出の要望に、地方は今まで通り応じなければならぬのか！

徳野先生の持論は、都市に出した息子や娘は「騙くらかしてでも家に呼び戻せ」ということであり、さらには、「息子や娘を都市に出すな」ということだと思えます。

島津亜弥さんの「帰らんちゃよか」という歌は、子の幸せを願う親心の歌で好きですが、親の本心は「帰ってこいよ」であって、「もう帰って来い！」と親は言うべきだと思います。

当然、息子や娘の就職口はどうするのかという問題が立ちふさがりますが、都会の心を病むほどのノルマを架せられる競争のなかで、息子や娘は果たして幸せになれるのでしょうか！

極論とは思いますが、地方の親達は息子や娘を都市には出さないとい選択をして、どうしたら地方で生きていけるかを考えたほうが良いのではないかと！

大切なことは、息子、娘、孫をどのように育てていくか考える必要があります。大学まで出してやれば、親の責任は終わったということではなく、父祖の地である田舎をどう守るかということについても、地方に関するプレミアム世代(65歳～75歳位)は、責任を放棄してならないと私は思っています。

4 「立志学舎」・「一燈照国」の話

平成12年に政界を去って弁護士業に戻った時、ひとつは「永田町の虚構と霞が関の崩壊」という本を書くための資料集めをしようと思ったのですが、もう一つ、「立志学舎」という学舎を創ろうと思いました。

その為、弁護士事務所を再稼働する時に、「立志学舎」という商号の商標登録を行いました。

新町三丁目にある私の事務所の前を通られると、事務所の屋上に立志学舎の看板が掲げてあります。その立志学舎の看板に「人格陶冶 一燈照国」と書いてあります。

学舎の設立を行うとき、当時の「新しい日本をつくる国民会議」の亀井正夫会長から、安岡正篤(やすおかまさひろ)先生の教えから引かれた「一燈照隅」「万燈照国」というお祝いの言葉を戴き、ここから、人格陶冶、一燈照国という言葉を見板に掲げました。

立志学舎は、この二つの言葉に集約される「人」を育てることを目的にし、「二度とない人生の生き方」を学び、「志を立て心を学ぶ学舎」にしたいと思っています。

現在、立志学舎のホームページを立ち上げる準備をしていますが、参加してくれる皆さんと共に、私自身も「志と心」を学ばなくてはと思っています。

前回の卓話で「二宮尊徳翁の一日一言」を座右の書として紹介しましたが、もう一つありまして、「森信三先生の一日一語」も座右の書とするところです。

立志学舎はこれらの先賢の言葉を教材として、高校生と中学生と一緒に「二度とない人生をどう生きるか」と「志を立て心を学ぼう」とする学舎にしたいと考えています。

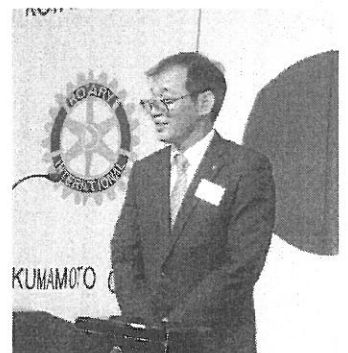
受験教育最優先のなかで、「生き方と志や心を学ぶ」学舎に、高校生や中学生が集まってくれるかどうか、豆腐屋さんの釜にならないか心配しますが、集まらなかったら皆さんにお願いを申し上げます。その時は、どうか宜しくお願い申し上げます。

最後になってしまいましたが、3月26日と27日に開催される地区大会は、皆さんで盛り上げて戴きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

本日は、ご清聴を戴き大変に有難う御座いました。



熊本菊南RC 創立30周年
記念式典案内 村上孝行会長
(写真)



最優先事項

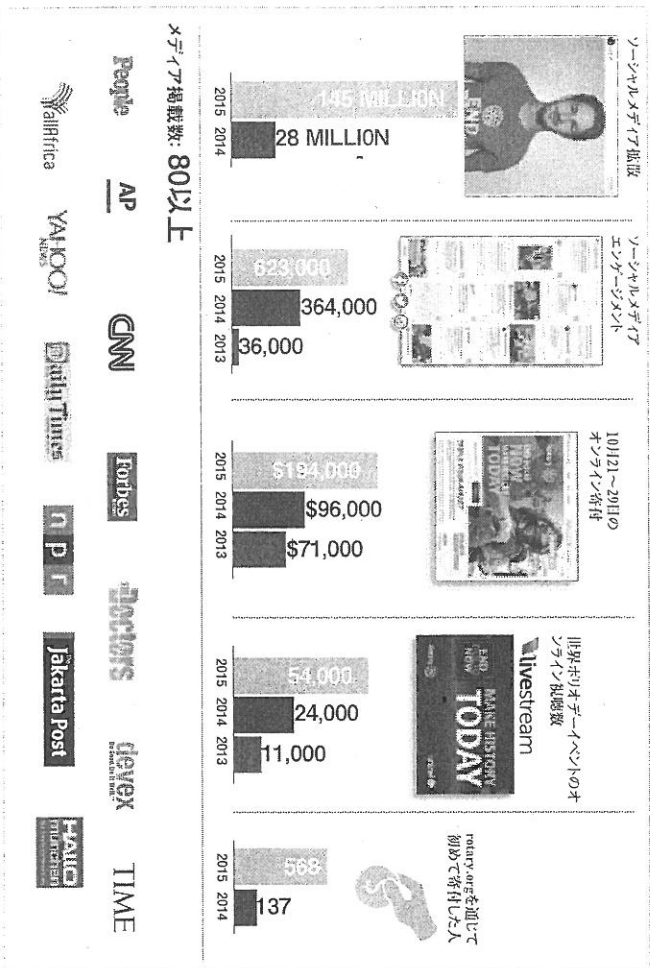
世界ポリオ撲滅が目前に

野生型ポリオウイルスによる感染は今、史上最低レベルを記録しています。2015年の発症数はわずか70件(2016年1月5日現在)。残るポリオ常駐国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。

しかし、今ここで撲滅に失敗すれば、全世界でポリオが再び広がり、今後10年間に毎年200,000件の感染が新たに発生する可能性があります。世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)は、ポリオを撲滅し、数億万人の子どもたちに数回の予防接種を行うことで感染を防ぐには、新たに15億ドルが必要であると呼びかけています。

撲滅の実現には、活動資金、各国政府の協力、すべての子どもたちへの継続的な予防接種、徹底したサーベイランス(監視活動)が必要です。ポリオのない世界が実現するまで、ロータリオンが募金活動、予防接種の呼びかけ、各国政府への支援要請といった活動を続けることが極めて重要です。今からでも早すぎることはありません。世界ポリオデーの募金活動や特別行事をぜひお楽しみください。

2015年世界ポリオデーの報告



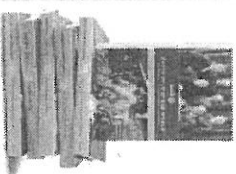
ご存知ですか

世界には推定200,000人のロータリーメンバーがいるといわれていますが、ロータリーのメンバーに登録されているのはわずか70,000人です。ご登録ください。『立ち上がり、存在をアビードしよう(Stand Up and Be Counted)』キャンペーンに参加して、各クラブの情報を報告することをロータリークラブに呼びかけてください。

ロータリーの運営について重要な決定が行われる規定審議会が、4月10~15日にシカゴで開催されます。3年に1度のこの審議会には全世界のロータリー地区から代表議員が出席し、立法案の審議と投票を行います。審議会の手続きと立法案についてはRotary.orgをご覧ください。4月には開催に伴う最新情報が掲載されます。

人見込者を見つけ、多様な会員基盤を築くことで役立つロータリーの新しい資料「会員増強のための罪面ツール」をご活用ください。この資料で紹介された調査・評価ツールを使って、会員がクラブに何を望んでいるかを調べ、会員となる価値を高める方法を考えることができます。「大会したい」「会員であり続けたい」と思われるクラブづくりのために、ぜひご活用ください。

「ロータリー クラウド リワード」で自社サービスを提供しませんか。参加企業が増える中、皆さまからも特典をご提供いただくことで、さらに輪が広がります。特典の掲載方法はこちらから、ロータリー クラウド リワードはこちらをご覧ください。



韓国での国際大会をもって、ロータリー財団百周年の祝賀が始まります。財団百周年記念誌『世界でよいことをしよう:人びとの心に燃れた100年』を注文し、祝賀ムードを高めましょう。ご注文は、オンラインショップまたは国際ロータリー日本事務局まで。行事を企画する際は、100周年推進キットをダウンロードしてご参照ください。



ロータリークラブです